

第7回徳島東部地域定住自立圏推進協議会 会議録

日 時：平成28年2月18日（木曜）10時～10時30分

場 所：ホテルクレメント徳島 3階 金扇

1 開 会

（司会）

ただ今から、「第7回徳島東部地域定住自立圏推進協議会」を開会いたします。

はじめに、当推進協議会の会長であります、原徳島市長にごあいさつをお願いいたします。

（会長：徳島市長）

今日は、大変お忙しい中、「第7回徳島東部地域定住自立圏推進協議会」にご出席賜りまして、まことにありがとうございます。

さて、少子高齢化の急速な進行など、地方を取り巻く環境は非常に厳しい状況の中、人口減少を克服し、地方創生を成し遂げるため、各自治体において、「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定して、人口減少対策への取組を推進しているところでございますが、人口減少の克服には、自治体間の連携による取組も必要ではないかと考えております。

この徳島東部地域におきましても、平成23年度に中心市である徳島市と近隣の11市町村との間で、「定住自立圏共生ビジョン」を策定いたしまして、様々な連携事業に取り組んでまいったところでございますが、この「定住自立圏構想」は、地方圏への人口定住を促進する上で、非常に有効な地域振興策になっているものと思っております。

すでに、連携開始から5年が過ぎようとしておりますが、関係者の皆さまには、連携事業の着実な実施につきまして、ご尽力を賜っておりますことに、中心市の市長として、重ねてお礼申しあげる次第でございます。

今後につきましては、新たな共生ビジョンの策定を踏まえ、徳島東部圏域の継続的な発展、さらには、圏域住民の皆さんが安心して暮らし続けたいと思える、魅力ある圏域の実現につながりますよう、これまで以上に、徳島東部地域12市町村の協力関係を深めて、共生ビジョンに掲げました取組を着実に実行してまいりたいと考えております。

委員の皆さま方におかれましては、この徳島東部地域の活性化のため、それぞれのお立場から積極的なご意見をお聞かせいただきたいと思いますので、どうぞよろしくご意見申しあげまして、冒頭のごあいさつとさせていただきます。

（司会）

それでは、当協議会規約第5条に基づきまして、会議の進行を、会長の原市長にお願いしたいと存じます。どうぞよろしくご意見いたします。

(会長：徳島市長)

まず、協議に入ります前に、この推進協議会に初めてご出席となります委員の皆さまに、ごあいさつをいただきたいと思います。

(石井町長)

ただ今、ご紹介いただきました、石井町長の小林でございます。

昨年5月に就任させていただき、ようやく1年近くが経とうとしておりますが、この間、広域行政の必要性を改めて実感しているところでございます。

先ほど、会長であります原市長からのお話の中にもございましたが、今、少子高齢化の問題に対応するため、各自治体が地方創生に向けての取組を進めているところでございますが、1つの自治体だけではなかなか物事が完結しない時代に差しかかっていることから、これまで以上に広域連携が重要になってきていると感じております。特にこの徳島東部地域におきましては、県都徳島市が入っておりますので、徳島県をさらに発展させるべく、この広域連携の必要・重要性を改めて認識しているところでございます。

また、圏域内に住む皆さま方の安心、安全、そして、住みやすさを追求し、さらには、移住・定住に向けて、この定住自立圏がますます機能していくように、私自身、努力を重ねてまいりたいと思っておりますので、皆さま方のお力添え・ご協力を賜りますようお願い申しあげまして、簡単ではございますがごあいさつに代えさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

(佐那河内村長)

昨年11月1日に執行されました村長選挙により、佐那河内村長を拝命いたしました岩城福治と申します。

私は、35年間ずっとJAに勤めておりましたが、このたび、初めて行政の中へ飛び込んだわけでございます。何も分からない世界ではございますが、できるだけ民間の力を取り入れることで、活力ある村政を行ってまいりたいと思っております。

ただ、自分だけの力ではどうにもなりませんので、皆さま方のお知恵やご指導をいただきたいと思います。

国勢調査によりますと、佐那河内村では5年前と比較すると人口が300人減っており、今では2,300人程度しかおりません。移住・定住をどんどん進めながら、佐那河内村の活性化に向けて頑張りたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願い申しあげまして、ごあいさつに代えさせていただきます。

よろしく願いいたします。

2 協議事項等

(1) 定住自立圏共生ビジョンの取組状況について

(会長：徳島市長)

それでは、お手元にごございます次第にしたがいまして、会議を進行させていただきます。

まず、「協議事項等」の「(1) 徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

- 「資料 1 定住自立圏形成協定に規定する取組（20項目）及び連携市町村一覧」の説明 —
- 「資料 2 徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況（平成27年度）」の説明 —

※「資料 3 徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況（平成26年度）」は配付のみ。

(会長：徳島市長)

ただ今、「共生ビジョンの取組状況について」事務局の方から説明がございました。

これにつきましてのご意見・ご質問は、次の協議と合わせまして、後ほどまとめてお受けしたいと思います。

続きまして、「(2) 次期徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの策定について」、事務局から説明をお願いします。

(2) 次期共生ビジョンの策定について

(事務局)

- 「資料 4-1 第2次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョン（案）」の説明 —
- 「資料 4-2 第2次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョン連携事業一覧（案）」の説明 —

(会長：徳島市長)

ただ今の事務局からの説明に対しまして、ご意見・ご質問等がございましたら、お願いいたします。

(各市町村長)

(質問なし)

(会長：徳島市長)

それでは、先般、1月27日に「定住自立圏共生ビジョン懇談会」が開催されましたが、そこで、委員の皆さんから、共生ビジョンの取組状況について、どのようなご意見が出されたのか、事務局から報告していただければと思います。

(事務局)

さる1月27日に開催いたしました「徳島東部地域定住自立圏共生ビジョン懇談会」において、委員さんからいただきました、主なご意見につきましてご報告させていただきます。

まず、「生活機能の強化に係る政策分野」の「圏域内の観光資源を生かした観光開発や観光誘致」につきましては、「今後、増加が見込まれる外国人観光客を呼び込む視点を持つことが、非常に重要ではないか」、さらには、「観光の地産地消を推進する意味においても、地元の人が地元を知ることのできるツアーをもっと増やしてほしい」とのご意見をいただきました。

次に、「結びつきやネットワークの強化に係る政策分野」の「移住・長期滞在の推進」につきましては、「移住促進にあたり、インターネットやICTを使って情報発信していくとともに、現在課題となっている空き家や耕作放棄地の利用を検討してほしい」とのご意見をいただきました。

また、「圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野」の「圏域内の市町村職員の人材育成」につきましては、「講習会や勉強会を開催するだけでなく、市町村の職員同士が、各市町村の取組を見学できるような研修も実施してほしい」とのご意見をいただきました。

今後につきましては、いただきましたご意見等を踏まえながら、圏域を形成する市町村間において、互いに連携協力しながら、圏域の魅力向上に向けて取り組んでいきたいと考えております。

(会長：徳島市長)

懇談会の委員の皆さんからいただきましたご意見・ご提言につきましては、共生ビジョンに反映できますよう、検討していただきたいと思います。

そういった委員の皆さんのご意見を踏まえまして、何かご意見がございましたらお願いいたします。

(松茂町長)

平成27年度の取組状況については、当初の計画どおり順調に進んでいるとのこと、それは大変結構なことですが、例えば、企業の誘致数など、あらかじめ設定している数字はあるのでしょうか。それとも、実績をもって、順調に進んでいると判断しているのでしょうか。

(事務局)

成果指標・目標数値は設定しておりませんが、実績における数字を踏まえ、総合的に判断いたしましたところでございます。

(上板町長)

先ほど、「外国人観光客を呼び込む視点を持つことが重要」とのご意見がありましたが、広域連携で取り組んだ方がよいと思うことが1つありまして、それは案内標識の表記についてであります。今、日本語だけでなく英語でも表記された案内標識が増えてきて、よくはなってきましたが、観光庁が示している基本的な考え方が、中国語と韓国語を入れた4か国語での表記であることから、そのことを連携市町村でも行った方がよいのではないかと思います。

ただ、これについては、1つの市町村だけで実施しても、なかなか外国人の誘致にはつながって

いきません。特に、観光分野につきましては、阿波おどりや四国八十八箇所外国人観光客がかなり増えてきている状況からも、案内標識そのものに意識を持ちながら徳島東部地域で連携して進めていく必要があると思いますので、ぜひ、ご検討いただきたいと思います。

(会長：徳島市長)

今、外国人のための案内標識の表記のご提案がございました。ただ、市町村道だけ整備をしても効果が少ないので、国・県の関係者に対して要望することを視野に入れながら、国・県及び我々市町村が一緒になって整備を進めていくべきではないかと思えます。

今、インバウンドが話題になっておりますが、徳島県では、受け入れ態勢についてはまだまだ遅れていると思いますので、上板町長さんからご提案いただいたことは非常に大切なことだと思います。そのような方向で進めていければと思います。

ところで、先ほど説明いただきました次期共生ビジョンにつきましては、お示しした案で進めてまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各市町村長)

(異議なし)

3 閉 会

(会長：徳島市長)

以上で、協議していただく事項は全て終了いたしました。

今後につきましては、次期共生ビジョンの策定を踏まえまして、これまで以上に圏域12市町村の協力関係を深めることで、東部圏域の継続的な発展につながりますよう、皆さんとともに努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、これをもちまして、「第7回徳島東部地域定住自立圏推進協議会」を閉会させていただきます。ありがとうございました。

以 上